

# ST-55

デジタルシンセサイザーステレオチューナー取扱説明書

- 保証書を必ずお受けとりください。
- このたびはオーレックス・デジタルシンセサイザーステレオチューナーをお買いあげいただきましてありがとうございました。お求めのチューナーを正しく使っていただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、必ず保存してください。

## もくじ

■特 長	1
■必ずお読みください	2
■保証について	2
■修理サービスについて	2
■接続のしかた	3-4
■各部のなまえとその働き	5-6
■選局のしかた	7-8
■ご注意とお願い	9
■故障とお考えになる前に	10
■仕 様	10

## 特 長

- AM/FMともにシンセサイザー方式によるデジタルチューナー  
チューナーの局部発振にクォーツ(水晶)を用いたPLL周波数シンセサイザー方式ですので、同調は正確無比です。
- スタティック方式デジタルチューニングシステム  
操作キー、周波数表示、各種動作表示等すべてスタティック方式ですので、従来のダイナミック方式に比較して安定していて、ノイズ発生が非常に少なくなっています。
- 同調方式はプリセット・マニュアル・オートチューニング(FMのみ)の三方式が可能  
プリセットチューニング、オートチューニングをクォーツ(水晶)の精度をもって、迅速同調できるシンセサイザー方式です。しかもこのシステムは、1個のコントロールICによる電子回路で処理されていますので、非常に信頼性の高いチューナーです。
- メモリーはAM、FMそれぞれ6局ずつ、計12局可能  
電子メモリーにより、周波数が記憶されます。またAM/FM切換スイッチと連動して、6個のプリセットチャンネルがそれぞれ独立して使えますので、ワンタッチで正確な選局をすることができます。
- マニュアルチューニングは、FMは0.1MHz、AMは9kHzステップのスキッピング方式  
チューニングボタンを押している間は、周波数がスキッピングし、所定の周波数の所でボタンを離せばとまりますので、容易に、しかも迅速に周波数を設定できます。
- 周波数表示に高輝度蛍光表示管を使用  
放送局周波数表示には、高輝度の蛍光表示管を使用しているため、遠くからでも周波数を読みとることができます。
- パネルにガラスを使用した高貴なデザイン  
パネルにガラスを使用した高貴な家具調デザインでどこに置いても他の家具ともマッチする優美なデザインのチューナーです。

## 必ずお読みください

- このチューナーは、従来のチューナーのようにダイヤルを回し放送局を探して受信する方法と異なり、プリセットチャンネルの“CH-1”～“CH-6”では、あらかじめ受信する局の周波数をメモリーする必要があります。プリセットされていないときは“CH-1”～“CH-6”を押しても受信できません。7～8ページの「選局のしかた」をお読みになり、プリセットするか、または[TUNING]

## 保証について

このオーレックスステレオチューナーには「保証書」がっています。

- 保証書はお買いあげの販売店でお渡しいたしますから、必ずお受けとりください。万一故障した場合には、保証書の記載内容により保証期間内は無料修理いたしますので、保証書記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とは

## 修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。（東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションの所在地は、添付一覧表をご参照ください。）  
なお、ご相談されるときは、ステレオチューナーの形名ST-55およびお買上時期をお忘れなくお知らせください。
- ステレオチューナーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は通産産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な

(チューニング)ボタンを押して選局してください。一度プリセットをすれば、あとはボタンを押すだけで簡単にプリセット受信ができます。

- 放送局周波数がプリセットされていないチャンネルボタンを押したとき、周波数表示器が無意味な数字を表示することがありますが故障ではありません。

なりません。もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。

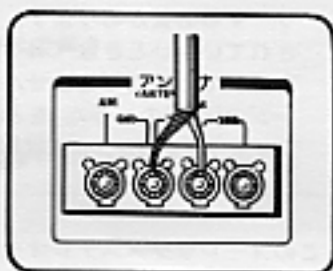
- このオーレックスステレオチューナーの保証期間は、お買いあげいただいた日から1年です。
- 保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

部品です。

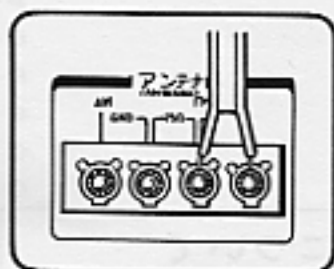
なお詳しくは、お買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。

- ご郵居の場合は、事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼にできない場合には、お近くの東芝消費者ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

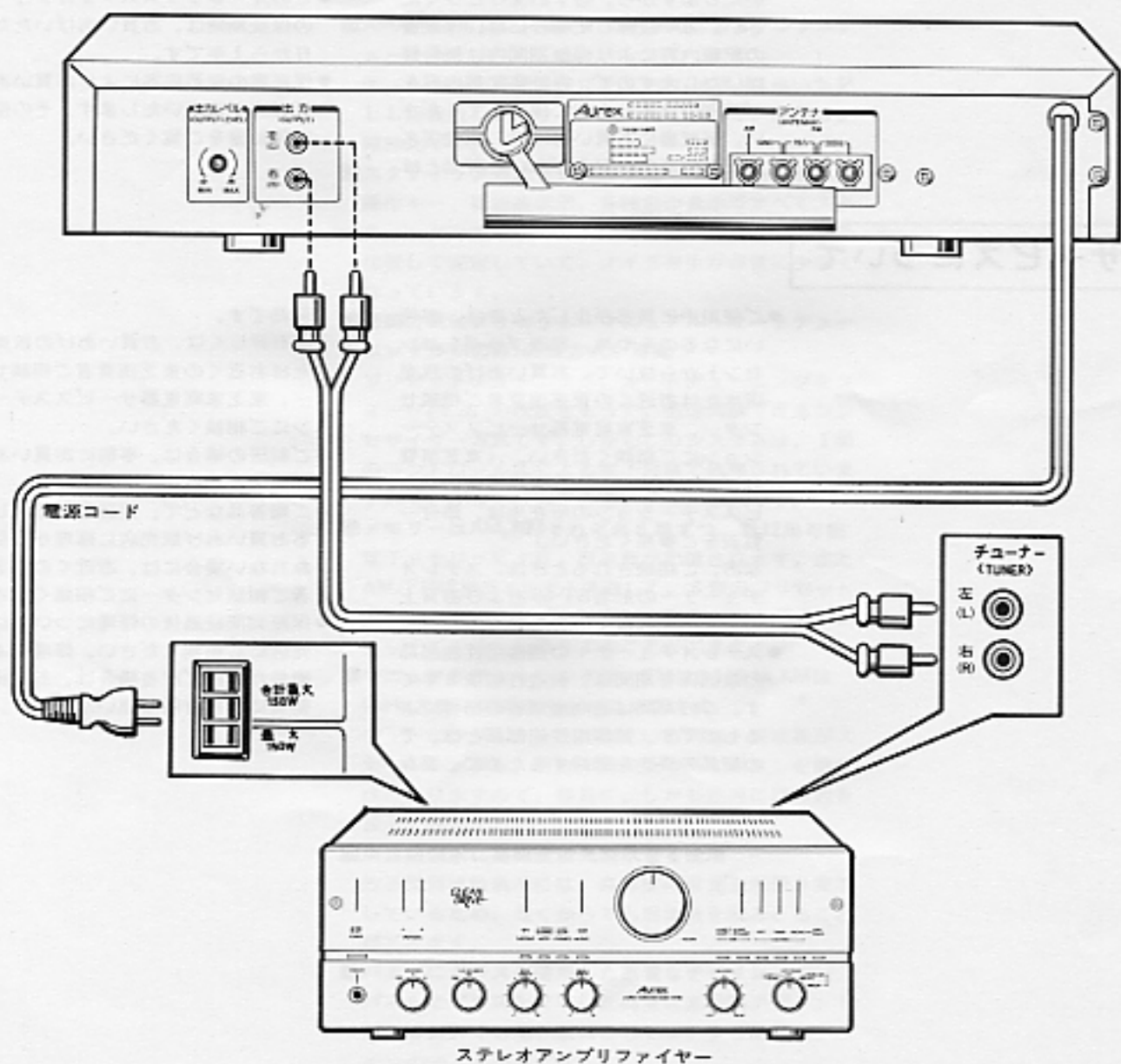
# 接続のしかた



75Ω同軸ケーブル使用



300Ωフィーダー使用



**ご注意**

すべての接続が終るまで、電源スイッチをOFFにし、電源コードはコンセントにさしこまないでください。

**■FM放送を受信するとき**

良好な受信状態にするためには、必ずFM用屋外アンテナをご使用ください。付属の“T”字形フィーダーアンテナは、一時的な間に合わせとお考えください。（“T”字形にのぼし壁または、天井に固定して“300Ω”端子につながります。）

●300Ω 平行フィーダーの場合⇒“300Ω”と表示された端子につながります。端子

はネジ式です。

●75Ω 同軸ケーブルの場合⇒“75Ω”と表示された端子につながります。同軸ケーブルのシールド側（網状になった外被側）をアース（GND）端子につながります。端子はネジ式です。

**■AM放送を受信するとき**

通常はフェライトバーアンテナだけで十分受信できます。フェライトバーアンテナの方向によって雑音が多くなる場合があります。このような場合は、フェライトバーアンテナの方向を受信状態のよい方向に変えたり、セットの置き場所を変

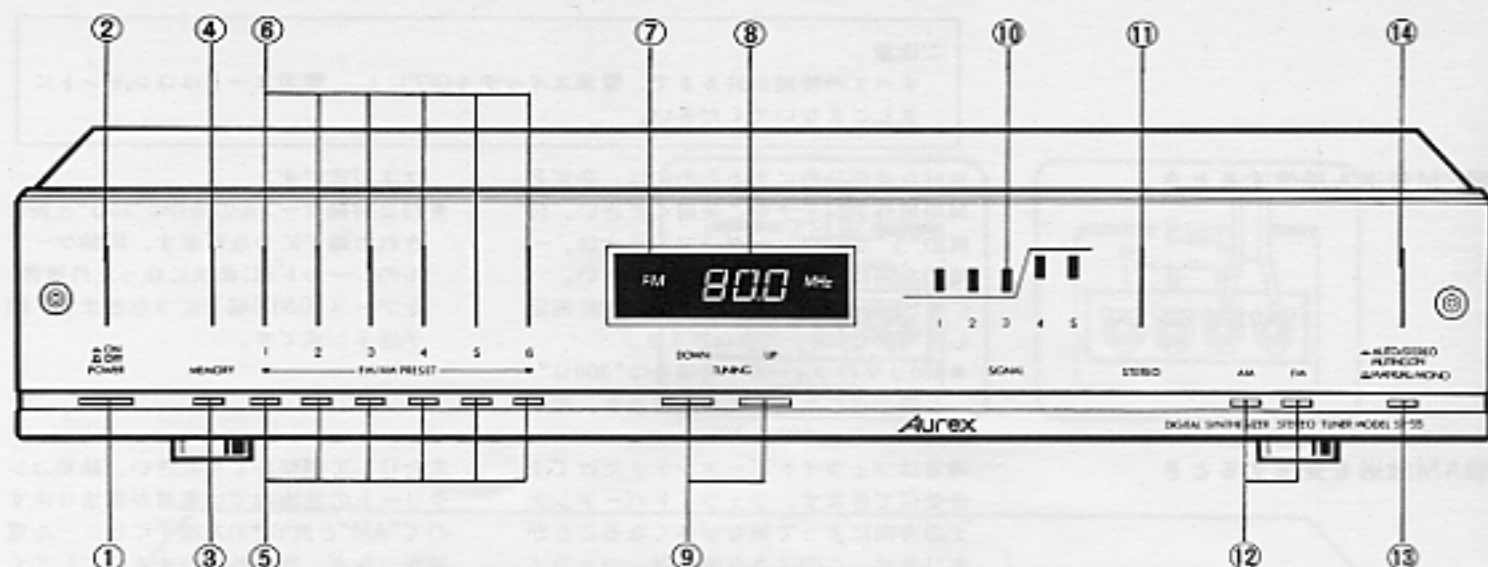
えたりして調整してください。鉄筋コンクリートの建物内では電波が弱まりますので“AM”と表示された端子にビニール電線をつなぎ、窓の外へ出すようにしてください。

**■電源プラグの接続**

電源プラグはステレオアンプの[UNSWITCHED]のACコンセント、または、直

接家庭用ACコンセントに接続してください。

## 各部のなまえとその働き



### ①[POWER]電源スイッチ

"OFF"の状態からボタンを押すと電源が入り、電源表示ランプ②と、周波数表示器⑧が点灯します。このとき、周波数表示器⑧には、前回電源スイッチを切ったとき表示していた周波数が記憶回路から読み出されて表示されます。

### ②パワーインジケータ

電源"ON"・"OFF"のインジケータで、ボタンを押して電源が入ったとき赤く点灯します。

### ③[MEMORY]メモリースイッチ

受信したい局の周波数をプリセットチャンネル"CH-1"～"CH-6"⑤にメモリー(記憶)するためのスイッチです。プリセットのしかたについては7～8ページの「選局のしかた」をお読みください。(この押ボタンはロックされません)

### ④メモリーインジケータ

メモリースイッチ③を押したとき、このインジケータが赤く点灯します。インジケータが赤く点灯している間にプリセットボタンを押しますと、そのとき受信していた放送局が記憶されます。インジケータの点灯が消えまるとプリセットはできません。

### ⑤[FM/AM PRESET]プリセットチャンネルボタン

プリセットしたチャンネルを選ぶスイッチです。このボタンを押せば、プリセットされた局の放送がすぐに受信できます。

※このボタンを2つ以上同時に押さないでください。プリセットされた周波数が設定されず、雑音が出ることがあります。(この押ボタンスイッチはロックされません)

### ⑥プリセットチャンネルインジケータ

プリセット選局で選ばれたチャンネルを表示します。

### ⑦[AM/FM]AM/FMインジケータ

AM放送を受信すると"AM"が、FM放送を受信すると"FM"が点灯します。

### ⑧周波数表示器

受信周波数を数字で表示します。プリセットされていないチャンネルのボタンを押したときは、無意味な数字が表示されますが、故障ではありません。

### ⑨[TUNING]チューニングボタン

このボタンの右の方を押すと"UP"の状態になり、左の方を押すと"DOWN"の状態になります。(この押ボタンスイッチはロックされません)

#### ○FM放送の場合

モードスイッチ⑬が"AUTO/STEREO"の状態では"UP"または"DOWN"のボタンを押すと周波数表示の数字が変わり、放送を受信したところでとまります。再び押すと、また周波数表示の数字が変わり次の放送を受信したところでとまります。

モードスイッチ⑬が"MANUAL/MONO"の状態では"UP"または"DOWN"のボタンを押すと放送を受信するしないに関係なく、周波数表示の数字が0.1MHzずつ変化します。またボタンを押し続けると、押し続けている間ずっと周波数表示の数字が変わり続け、離すととまります。

#### ○AM放送の場合

"UP"または"DOWN"のボタンを押すと、周波数表示の数字が9kHzずつ変化します。またボタンを押しつづけると、ボタンを離すまで連続して周波数表示の数字が変化します。

⑩[SIGNAL] シグナルインジケータ

チューナーに入ってくる電波の強さを表示します。電波の強さが大きくなるに従って、インジケータの点灯する数が多くなります。

⑪[STEREO] FMステレオインジケータ

FM放送がステレオ番組の場合に赤く点灯します。

※モノラル番組の場合や、モードスイッチ⑬が“MANUAL/MONO”の位置になっている場合は点灯しません。

※このインジケータが点滅するようになるときは、その放送の電波が弱く、ステレオ受信には不適合ですので、モードスイッチ⑬を“MANUAL/MONO”の位置にしてモノラルとしてお聴きください。

⑫[AM/FM] ファンクションスイッチ

FM放送とAM放送を切り換えるスイッチです。(この押ボタンスイッチはロックされません)

⑬[AUTO/STEREO MUTING ON

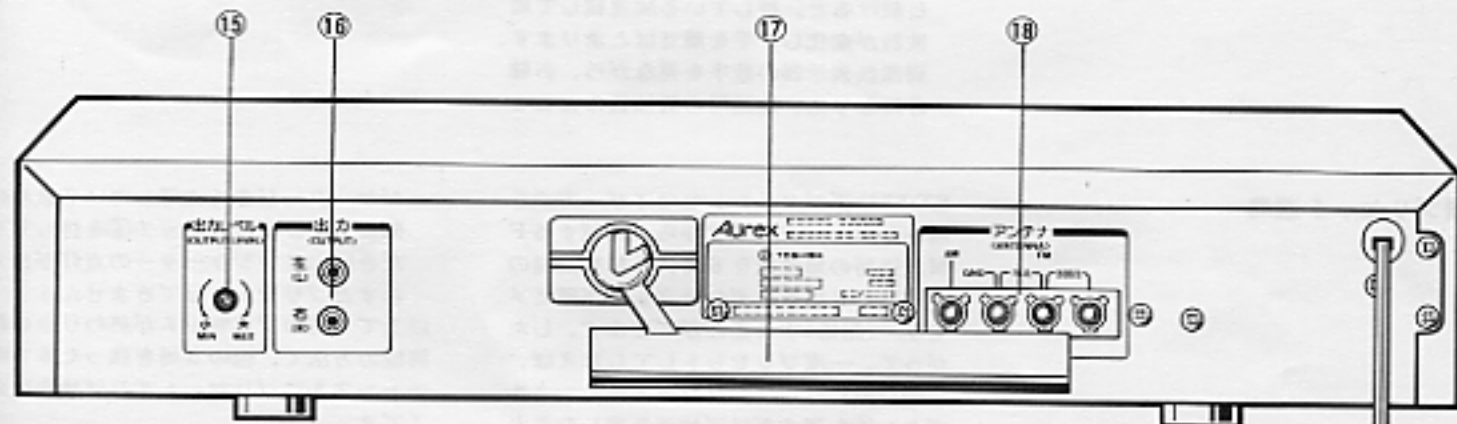
MANUAL/MONO] モードスイッチ  
ファンクションスイッチ⑫の[FM]が“ON”のときだけ働きます。

“■AUTO/STEREO MUTING ON”の位置にすると、FMステレオとモノラルの自動切り換えおよびミュート機能がはたらい、局間雑音を取り除きます。また、オート選局のポジションにもなります。このスイッチを押してチューニングボタン⑨を押すと、十分に電波の強い放送を受信したところにとまります。なお、受信したい放送局の周波数と異なる周波数でとまった場合はもう一度チューニングボタン⑨を押して選局してください。

“■MANUAL/MONO”の位置にすると、番組はステレオであっても強制的にモノラルになり、ミュートも働きません。電波の弱い地域でお聴きになるときは、遠距離の放送を受信するときは、この位置で選局します。

⑭モードインジケータ

モードスイッチ⑬のON, OFFのインジケータです。ボタンが押されたとき(“AUTO/STEREO MUTING ON”のとき)緑色に点灯します。



⑮[OUTPUT LEVEL] 出力レベル

出力レベルを調整するボリュームで、右(○)にまわすと、出力が大きくなります。

⑯[OUTPUT] 出力端子

チューナーの出力端子です。ステレオアンプの[TUNER]端子へつなぎます。

⑰フェライトバーアンテナ

AM放送用フェライトバーアンテナです。受信する放送局に合わせて、アンテナの方向を変えてください。

⑱[ANTENNA] アンテナ端子

アンテナ接続用端子です。3~4ページの「接続のしかた」にしたがって、アンテナをつないでください。

## 選局のしかた

### ■マニュアル選局

#### ●FM放送をお聴きになる場合

まずファンクションスイッチ⑫の“FM”を押します。モードスイッチ⑬によって、次の二通りの選局ができます。

☆モードスイッチが“■AUTO”のとき  
(オート選局)

チューニングボタン⑨の“UP”または“DOWN”を押すと周波数が自動的に変わり、放送をキャッチするととまります。

(電波の弱い放送局は、とまりません)

☆モードスイッチが“■MANUAL”のとき  
(マニュアル選局)

チューニングボタン⑨の“UP”または“DOWN”を押すと、ボタンを押すたびに周波数表示器の数字が<0.1MHz>ずつ変化します。また、チューニングボタン⑨を押し続けると、押している間連続して周波数が変化し、手を離せばとまります。周波数表示器の数字を見ながら、お聴きになりたい放送局の周波数のところでとめてください。

#### ●AM放送をお聴きになる場合

まずファンクションスイッチ⑫の“AM”を押します。チューニングボタン⑨の“UP”または“DOWN”を押すたびに、周波数表示器の数字が<9kHz>ずつ変化します。またチューニングボタン⑨を押し続けると、押している間連続して周波数が変化し、手を離せばとまります。周波数表示器の数字を見ながら、お聴きになりたい放送局の周波数のところ

でとめてください。

※注：放送局の周波数は、新聞の番組表に載っていますので、ご参照ください。

(例)

放送局周波数	
第1 594	NHK 第2 693
5.00 国○95早稲大商○	5.30 漁村○45古文○
6.00 国○75津本○30体操	7.00 英語○読英語○
6.40 ローター 福馬の	8.00 独語○音楽○4
野馬追い今年も出陣	8.55 仏語○体操○4
8.30 おはよう	9.00 お話○9.10気象
9.00 国○95読書	9.30 高校英語「英文
9.15 カレンダー 日本列島の話	10.00 文学館「赤と黒
	10.30 中学勉強室「基

### ■プリセット選局

ST-55はデジタルシンセサイザー方式を用いたチューナーですから、希望するFM放送局の周波数を6局、AM放送局の周波数を6局それぞれ独立して正確にメモリー(記憶)することができます。したがって、一度プリセットしてしまえば、面倒な選局なしにプリセットチャンネルボタン⑤を押すだけで放送を楽しむことができます。

次の説明に従ってプリセットを行ってください。

まず希望する放送局を1～6局選び、周波数を調べます。

- ① FM放送の場合はファンクションスイッチ⑫の“FM”を押します。
- ② マニュアル選局で希望する放送局の周波数に合わせます。
- ③ メモリースイッチ③を押します。なお、このスイッチはロックされませんので手を離せば戻ります。
- ④ メモリースイッチ③を押したらすぐプリセットを希望するチャンネル(1～6)のチャンネルスイッチを押します。(メモリースイッチ③を押したときインジケータ④が赤く点灯します。イン

ジケータが赤く点灯している数秒の間にチャンネルスイッチ⑤を押してください。インジケータの点灯が消えますとプリセットはできません。

以上で1局のプリセットが終わりました。同様の方法で、他の5局を残った5つのチャンネルにプリセットすれば操作は完了です。

AM放送の場合はファンクションスイッチ⑫を“AM”にして上記の操作をくり返せば、AM放送局を6局までプリセットできます。

これで、プリセットチャンネル1～6のそれぞれにFM放送局が6局とAM放送局が6局ずつプリセットされたので、チャンネルスイッチ⑤を押すだけで6つのFM放送局と6つのAM放送局を簡単に選局することができます。

なお、このプリセットは、何回でもやり直すことが可能ですから、一度プリセットした局を変更することも簡単です。また、プリセットされた周波数は電源スイッチを“OFF”にしても(電源プラグがコンセントに差し込んである限り)変わることはありません。

※注：停電等で電源プラグを抜いた状態が1～2日以上続くと、プリセットされた周波数が変わることがあります。このような場合には、もう一度プリセットしてください。

例：プリセットチャンネル1にFM放送の「NHK東京」(82.5MHz)とAM放送の「NHK東京第1」(594kHz)をプリセットしたい場合

- ①ファンクションスイッチ⑫を“FM”にします。
  - ②マニュアル選局で周波数表示器の周波数を82.5MHzにします。
  - ③メモリースイッチ③を押します。
  - ④メモリースイッチ③を押したらすぐに、プリセットチャンネルスイッチ⑤の1のスイッチを押します。
  - ⑤ファンクションスイッチ⑫の“AM”を押します。
  - ⑥マニュアル選局で周波数表示器の周波数を594kHzにします。
  - ⑦③、④の操作をくり返します。
- 以上でプリセットチャンネルスイッチ⑤の1にFM放送の「NHK東京」とAM放送の「NHK東京第1」がプリセットされました。

※注1：メモリースイッチ③を押しながら、プリセットチャンネルスイッチ⑤を押すと、正確に記憶されないことがあります。メモリースイッチ③は押したらすぐ離し、インジケーターが点灯している間にプリセットチャンネルスイッチ⑤を押してください。

※注2：プリセットチャンネルスイッチ⑤を、同時に2個以上押しますと、正確に動作しないことがあります。ボタンを押すときは、1個ずつ押してください。

※注3：異なるプリセットチャンネルにもFM側にはFMの周波数、AM側にはAMの周波数を入れておいてください。チャンネルが空いていると誤選局することがあります。

## ご注意とお願い

### ■取扱いについて

- 電源プラグの取扱いについて  
電源プラグは、必ず100Vのコンセントに差し込んでください。また、電源プラグは、お子様が露出部にふれて感電することのないよう、確実に十分差し込んでください。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグの成型部分を持って抜いてください。
- キャビネットはあけないでください  
キャビネットをあけて内部の部品に手を触れると、感電したりやけどをしたりする場合があります。キャビネットは絶対にあけないでください。
- FMの音質はアンテナでまします  
付属のT字形フィーダーアンテナは、一時的な間に合わせとを考えてください。FMはテレビと同じようにアンテナが大切です。なるべく屋外アンテナをたてましょう。  
アンテナは指向性のよい、高感度の屋外アンテナを使用し、できるだけ高い所に、高い建物や道路から遠ざけた場所に設置してください。アンテナの向きを変えて、各放送局が最もよく聞こえる位置をさがしてください。アンテナからチューナーまでの配線は、できるだけ短くし、なるべく75Ωの同軸ケーブルをご使用ください。
- 電源は直接コンセントに接続してください  
ST-55は、プリセットのメモリーに電子メモリーを使用しています。この電子メモリーを保存するために、常に微弱な電力を必要とします。そのため電源にはAC 100Vが常にかかっている必要があります。

電源プラグは直接家庭のコンセントまたはアンプの〔UNSWITCHED〕のコンセントにつないでください。停電等の短時間の中断ではさしつかえありません。(1日以内)

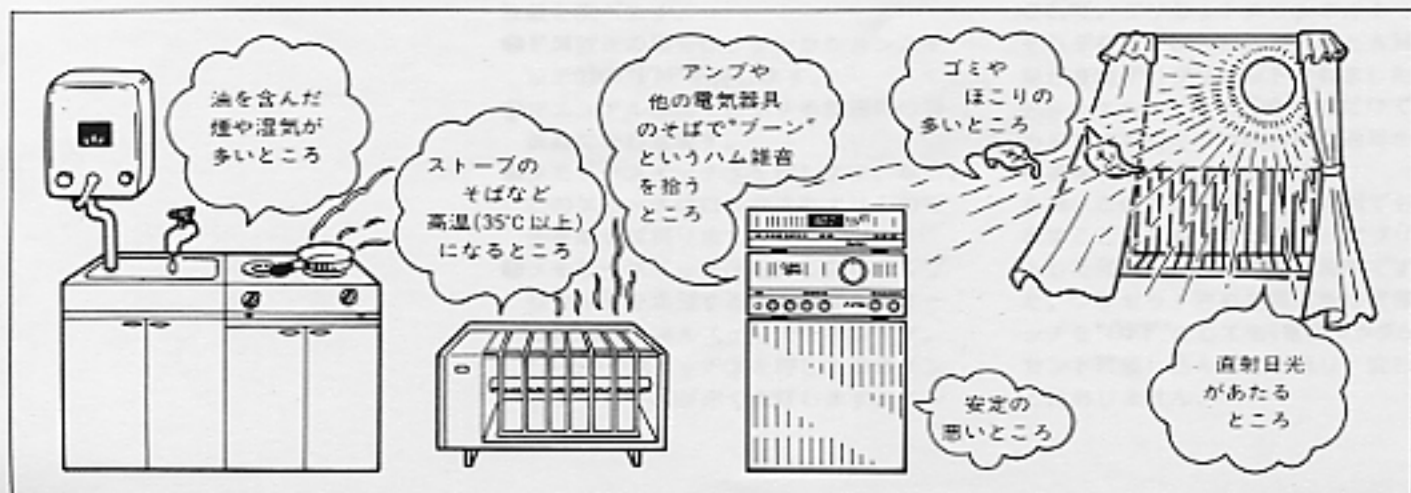
- ぬれた手でふれないでください  
水にぬれた手で電源コードなどにさわらないでください。手を洗った後は良くふいてから製品を使用してください。誤って製品を水にぬらしたときは、良く乾かしてからコンセントにつないでください。ひどくぬれたときには、販売店または東芝消費者ご相談センター 東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。
- 殺虫剤、ヘヤスプレーをお使いのときは……。  
殺虫剤やヘヤスプレーなどがセットにかかりますと、合成樹脂部分や塗装面にシミをつくる場合があります。スプレー製品の注意書をよく読んでからお使いください。

### ■使用場所について

(次のようなところは避けてください)

- 下図のようなところ
- 潮風、硫黄分のあるところ  
海岸近くにお住いの方や、温泉場にお住いの方は、端子部分が塩分や硫黄分で腐蝕されないように、ときどき柔かい布などで磨いてください。
- お子様の手のとどくところ  
乳幼児の手の届かない所を置き場所に選んでください。たとえば、ボリュー

ムをいっぱい上げたまま電源スイッチを入れると、大きなショックノイズが発生したり、ときには、この大きな音でスピーカーが故障することがあります。また、ジャックの穴や通風用の穴などから、お子さまが桐棒やヘヤピンなどを差し込むと、感電するおそれがあります。お子さまの手にふれない所に置いてください。



## 故障とお考えになる前に

まず、次のことを確かめてみてください。  
それでも具合が悪いときには、お買いあげの販売店にご相談ください。

- 1.音がでない
  - 接続コード類がはずれていませんか。出力コードをアンプ側のチューナー端子に確実にさし込んでください。
  - アンプ側の入力切換スイッチが[PHONO]または[AUX]になっていませんか。入力切換スイッチは[TUNER]にしてください。
  - スピーカーはアンプに正しく接続されていますか。
  - アンプの電源は入っていますか。
- 2.音がざらつく (FMの場合)
  - 入力電波が弱い。アンテナの位置、方向、高さを再検討してください。できれば、しっかりした屋外アンテナをたててください。
- 3.FMのステレオインジケータがつかない。あるいは点滅する。
  - 電波が弱い。
  - 受信している放送がモノラルではありませんか。
- 4.電源スイッチを入れてもインジケータがつかない。
  - 電源プラグはコンセントにさし込みましたか。
- 5.AM放送に合わせるとブーンという低い音(同調ハム)が入る。
  - 電源プラグの極性を反対にさしこんでください。

- 6.まわりの電気器具の電源スイッチ操作による電源ノイズ
  - 雑音電波により音のとぎれるようなノイズが起こることがあります。このようなときは、これらの電気器具とは別の系統のコンセントを使用してください。
- 7.自動車やオートバイが通ると、バリバリという雑音が入る。(FMの場合)。
  - アンテナをなるべく道路から遠い位置に移してください。
- 8.メモリーされない
  - メモリーボタンを押してチャンネルボタンを押すまでの時間が長くありませんか。メモリーインジケータが点灯している間(約6秒以内)にこの操作を終了させてください。
- 9.メモリーが消える
  - 電源プラグがアンプのコンセント[SWITCHED]につながっていませんか。[UNSWITCHED]側につないでください。
  - 長時間(1日以上)電源プラグを抜いたままにしておいたのではありませんか。

## 仕様

### ●FM部

受信周波数	76.0~90.0MHz
感度 (IHF)	10.8dBf
ひずみ率	
モノラル	0.08% (1kHz 100% MOD)
ステレオ	0.12% (1kHz 100% MOD)
S N 比	
モノラル	80dB (IHF Aカーブ)
ステレオ	74dB (IHF Aカーブ)
周波数特性	20Hz~15kHz ±1.5dB
選択度 (IHF)	60dB (400kHz)
イメージ妨害比	70dB
I F 妨害比	75dB
キャプチャレシオ	1.5dB
スプリアス妨害比	75dB
A M 抑圧比	60dB
ステレオ分離度	50dB (1kHz)
定格出力	0~600mV (400Hz 100% MOD)

### ●AM部

受信周波数	522~1602kHz
実用感度	280μV/m (SN 20dB)
ひずみ率	0.7% (400Hz 30% MOD)
イメージ妨害比	35dB
I F 妨害比	30dB
S N 比	50dB

### ●その他

電 源	AC 100V 50/60Hz 共用
消費電力	13W
使用半導体	トランジスタ 32個 ダイオード 27個 IC 10個
寸 法	420(幅)×78(高さ) ×230(奥行) mm
重 さ	2.6kg
付 属 品	T字形アンテナ、接続コード、取扱説明書、保証書

※本機の仕様および外観は、改良のため変更することがありますので、ご了承ください。

### 「ステレオ音のエチケット」

静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。  
お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

# 東京芝浦電気株式会社

音響事業部

オーディオ営業部

〒104 東京都中央区銀座5-2-1 (東芝ビル内)  
TEL 東京 (03) 574-5235

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
セットの製造番号	

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると便利です。